

**ドイツ:** エリカ・シューハルトは資料と思考の豊かさといった学術的な視点を新しく打ち立てた。コンスタンティン・フローロス、音楽学者、指揮者、作曲家。

**日本:** これほど私の人生を理解できたと感じたことは滅多にない…危機に直面した父である私は、この危機スパイラルを通して強くなり、そして挑戦した。大江健三郎、ノーベル文学賞受賞作家

**ドイツ:** シューハルト…幸運な偶然…説得力のある新たな試み: 彼女の危機マネージメントの相補モデルは、里程表であり道しるべである。K.J.ケンメルマイヤー、音楽教育学、ドイツ音楽評議会設立委員長

**オーストリア:** 生命の、極めて重要な意味についてのこれまでにない靈感を与える本…真の贈り物である…

A・ノイマイル、医師、ボルツマン研究所所長、ピアニスト、ウィーンフィルハーモニー出資者

**ドイツ:** ベートーヴェンから人生を学ぶー人生の危機は人生の好機になりうる…西ドイツ放送局ケルンWDR3文化放送「TonArt」

**日本:** エリカ・シューハルトの本…人生の危機の克服のための全く新しい研究の試み…は、日本の人々にとって大きな希望である。樋口隆一、音楽学者、指揮者、国際音楽学会副会長、DAAD友の会会長

**ドイツ:** 素晴らしい本…演奏会の主催者もこれまで誰もなし得なかった、これまでにない革新的な試み…イローナ・シュミール、ボン・ベートーヴェン祭総監督

**ドイツ:** ベートーヴェンをモデルとした危機克服としての創造性。人間ベートーヴェンに至るシューハルト氏の新しい、これまでにない道程…ハッセン州放送局FFM、HR2文化放送「Mikado」

**日本:** 数多くのベートーヴェン本の中で、シューハルト氏の本は、多くの情熱と多大な洞察が注ぎ込まれた研究の賜物である。A.デーケン、イエズス会司祭、ソフィア大学教授

**ドイツ:** ベートーヴェンは「真の芸術はわがままである」と書き記している…多くの誓いを立てた本…回想の中での人生について書いた本は「芸術作品」である。N.ランメルト、ドイツ連邦議会議長

Hiermit bestelle/n ich/wir ..... Expl.  
Schuchardt: Diesen Kuss der ganzen Welt  
2., umfassend veränd. Aufl. 2013, 313 S., 19,80 €



Olms Verlag AG      Telefon 05121/150 10  
Hagendorwall 7      Fax 05121/150 150  
31134 Hildesheim      info@olms.de



ISBN 978-3-487-42101-8

Hiermit bestelle/n ich/wir ..... Expl.  
Schuchardt: Diesen Kuss der ganzen Welt  
2., umfassend veränd. Aufl. 2013, 313 S., 19,80 €



Academia Music Ltd.      Tel. 03-3813-6751  
Hongo 1-28-21      Fax 03-3818-4634  
Bunkyo-Ku      info-netshop@  
Tokyo 113-0033      academia-music.com

erhältlich auch im Beethoven-Haus, Bonn  
info@beethoven-haus-bonn.de

ISBN 978-4-87017-078-0

11/12/15.000



エリカ・シューハルト 著

このくちづけを  
世界の  
すべてに

ベートーヴェンの  
危機からの  
創造的飛躍

樋口 隆一・山本 潤・伊藤 綾 訳

アカデミア・ミュージック



本書はベートーヴェンに関する資料と解釈を一つにしたものである。その資料と思考の豊かさ、その学術的な視点は印象的である。『ハイリゲンシュタットの遺書』から《第九交響曲》に至るベートーヴェンの人生と創造の歩みを、エリカ・シューハルトは、人間と社会のために、スパイラルの8つの段階の中に人生の危機を克服するための相補的なモデルを展開している。

とりわけ独創的なのは、心理学的かつ社会学的、さらには宗教的な論述だけで満足することなく、肖像画や言説による受容史をも彼女の考察に組み込んでいる点である。六千を超える自伝や回想録を分析した彼女の研究成果がもたらすものは、われわれに希望を与える認識に他ならない。危機に直面した人間の苦しみは、社会にとって、いやまだ危機に直面したことのない人間にとっての挑戦だからである。この本は、すべてのベートーヴェン愛好家の、そしてすべての心開かれた人々の書架におかれるべきであろう。

コンスタンティン・フローロス

コンスタンティン・フローロス



国際的音楽学者。学際的対話の擁護者。テッサロニキ、ウィーン、ハンブルクで法学、美術史学、哲学、心理学、作曲を学んだ。

[www.floros.de](http://www.floros.de)

本書の大使としての役割のために：  
ベートーヴェンは、我々の時代の人間にとって、インスピレーションの重要な泉であるだけではない。彼の音楽は、世界中の人々の心の琴線に触れ、感動させる意思疎通の架け橋なのである。エリカ・シューハルトは、学際的な本書において、危機の克服の力としてのベートーヴェンの音楽の興味深い分析を行っている。最終的な解釈学的結論として、本書はベートーヴェンの作品と機能に関するまったく新しい視点を導き出すことに成功している。本書が国際的な文化な意見交換の中で、ベートーヴェンとボンに対する新たな架け橋となり、多くの読者を獲得することを願ってやまない。

マルテ・C・ベッカー  
ベートーヴェンハウス館長



エリカ・シューハルト



危機マネジメントに関するベストセラー作家。ドイツ・プロテスタント教会会議員、世界協会会議員、ユネスコ・ドイツ支部副会長、ドイツ連邦議会議員を歴任。文学賞受賞、黄金冠十字章受賞。

[www.prof-schuchardt.de](http://www.prof-schuchardt.de)

# エリカ・シューハルト

## このくちづけを世界のすべてに ベートーヴェンの危機からの創造的飛躍



コンスタンティン・フローロス氏による寄稿文、独・英・日・露語による「ベートーヴェンの夕べ」のDVD付き。ベートーヴェンの個人的、社会的、芸術的、政治的危機に関する、300にわたるカラー印刷の絵画や貴重な資料を含む。独語第2版は2013年発行、313頁。

ハードカバー：ISBN 978-3-487-08520-3 €19,80

E-book (pdf形式)：ISBN 978-3-487-42101-8 €17,99

本書構成

プロローグ：それは子供の頃の夢から始まった

コンスタンティン・フローロス：エリカ・シューハルトの『ベートーヴェン本』によせて

マルテ・C・ベッカー：ベートーヴェン本の大使としての役割

イローナ・シュミール（ボン国際ベートーヴェン音楽祭総監督）ごあいさつ

序章：ベートーヴェンの幸福像と遺言

1. クリムトとクリンガーに見るベートーヴェンの苦悩とくちづけ

2. ベートーヴェンの生涯と仕事—輝ける栄達

3. 包括的研究成果「危機は好機」—個人と社会の創造的飛躍への契機

4. ハイリゲンシュタットの遺書から第九交響曲へ—危機克服としてのベートーヴェンの人生スパイラル—スパイラルの8時期を通じた個人の学習プロセス

5. 《英雄交響曲》から《プロメテウス》にみる英雄の理想から和解のくちづけまで—ベートーヴェンの危機克服マネジメント—「架空」の人生を創造することによる社会的追放の克服

6. 音楽史にみる《第九》の受容的論評

7. ベートーヴェンの《交響曲第9番》—統合「頌歌」—200年間の出来事

8. ベートーヴェンの「自己克服」—想像力の革命的特徴に関する洞察

